

## ■ 講座・研修／ワークショップ

### 講座・研修プログラム 一例

- ▶ 主に法人のお客さま向けに、対話のエッセンスを活かしたコミュニケーション形成のための講座や研修、ワークショップのプログラムの企画、導入・定着の支援、ファシリテーション等を承っています。
- ▶ 特に NPO 法人や福祉事業者のスタッフ・会員の方々を対象に、「対人コミュニケーション」、「組織内コミュニケーション」、「組織間コミュニケーション」における課題の発見、課題解決のヒントを探るためのプログラムづくりを行っています。
- ▶ アサーションの考え方をベースに、【講義&グループ対話ワーク】を基本スタイルとしています。

#### ★ 「対話」キホンのキ シリーズ

#### ★ ピアサポーターに必要な実践対話力

#### ★ 対話のエッセンスとしてのアサーション 自他尊重のコミュニケーション講座

(講義メニューの例)

- ◇ 「対話」の第一歩 ～日常で起きがちなこと、たとえば・・・
- ◇ 「対話」的な考え方のキホン
- ◇ 問い上手は、「きき」上手 ～いい「問い」ってどんな「問い」なんだろう？
- ◇ 「コンテクスト」ってなんですか？ ～空気を読まずに文脈を読もう(エンパシーの学び)
- ◇ 「対話」の眺め方 ～対話について語るとき何を語ろう
- ◇ ファシリテーターって何をやるひとなの？ ～話し合いの場づくり

(グループワーク例)

- ◇ 異なる価値観を「受容する」を学ぶ グループワーク(3人～5人/グループ)
- ◇ 質問上手になろう！「質問・問い」を学ぶ グループワーク(基本3人一組)
- ◇ 「エンパシー的共感」を学ぶ ケーススタディワーク(10名～20名全体によるワーク) 他

### ワークショップ(グループ対話) プログラム 一例

#### ★いりくんだ人生を楽しくひも解く 「ライフデザインルーム ちえのわ」

#### ★“働”と“楽”をつなげるヒント 「ワークデザインルーム どうらく」

※のちに、オトナの社会科見学 ～働楽者(どうらくもの)とのトーク&ワーク～へと移行

#### ★障害当事者と語るワークショップ ＜障害者理解を語る前にみんなで語るべきこと＞シリーズ

2021年12月改訂